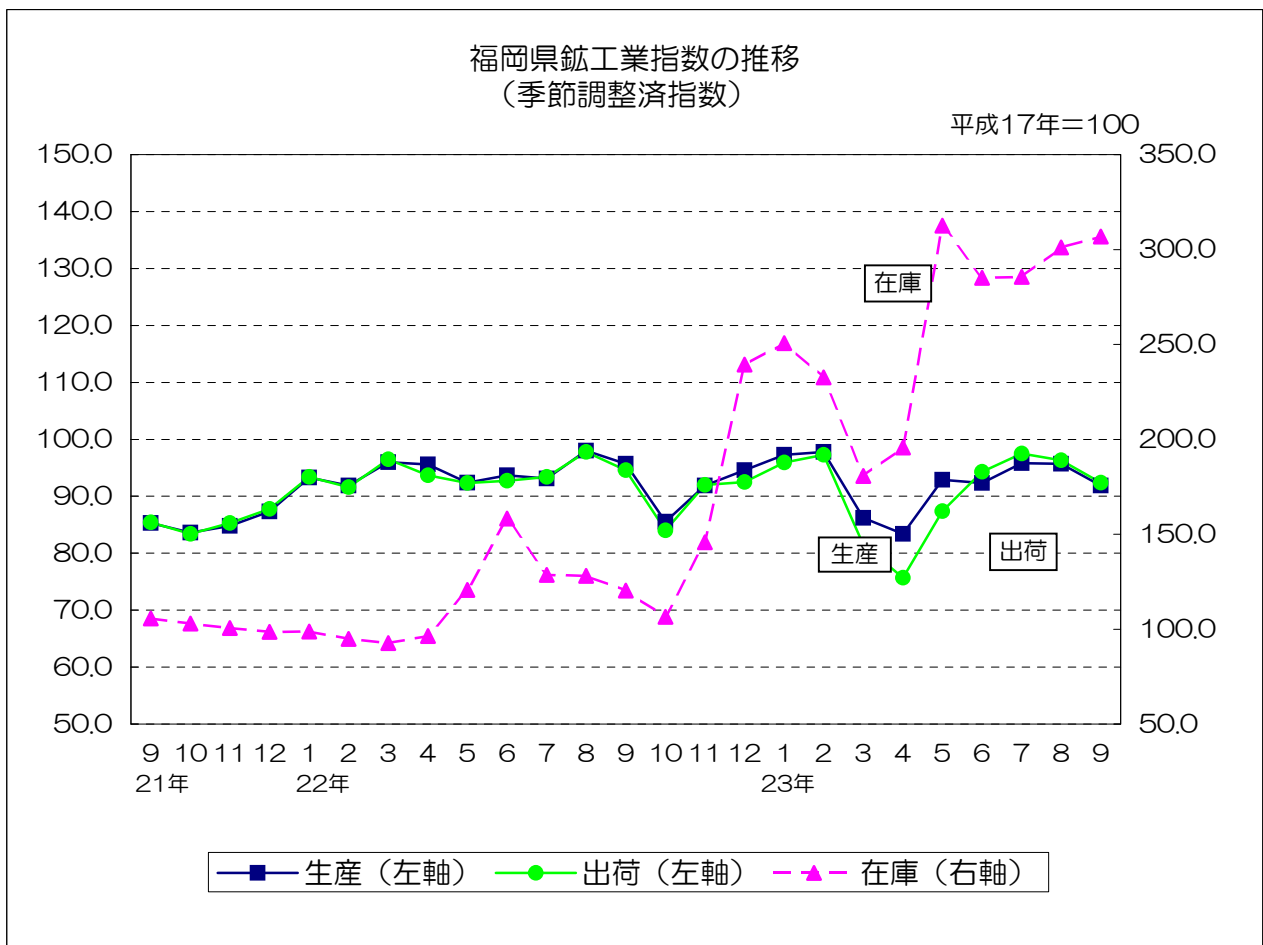


平成17年基準

福岡県鋳工業指数月報

(平成23年9月)



平成23年9月の鉱工業指数

概況

- 平成23年9月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比4.0%の低下、出荷が同4.0%の低下、在庫が同1.9%の上昇となった。

- (1) 生産
 - 季節調整済指数 : 91.9で前月比4.0%低下 (2か月連続の低下)
 - 原指数 : 99.1で前年同月比3.7%低下 (2か月連続の低下)
- (2) 出荷
 - 季節調整済指数 : 92.4で前月比4.0%低下 (2か月連続の低下)
 - 原指数 : 102.6で前年同月比1.5%低下 (4か月ぶりの低下)
- (3) 在庫
 - 季節調整済指数 : 306.9で前月比1.9%上昇 (3か月連続の上昇)
 - 原指数 : 298.4で前年同月比152.5%上昇 (17か月連続の上昇)

- 前月比（季節調整済）

	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（18業種中）	4業種	0業種	14業種
出荷（18業種中）	5業種	1業種	12業種
在庫（18業種中）	5業種	0業種	13業種

(1) 九州・全国との比較

(平成17年=100)

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	91.9	▲ 4.0	99.1	▲ 3.7
	出荷	92.4	▲ 4.0	102.6	▲ 1.5
	在庫	306.9	1.9	298.4	152.5
九州	生産	101.0	▲ 6.3	111.2	▲ 2.2
	出荷	101.3	▲ 7.4	112.4	▲ 1.6
	在庫	134.0	2.3	133.2	22.1
全国	生産	90.5	▲ 3.3	98.4	▲ 3.3
	出荷	92.7	▲ 2.0	102.2	▲ 2.9
	在庫	102.7	▲ 0.1	100.5	5.5

(2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
食料品・たばこ工業 電子部品・デバイス工業 繊維工業 石油・石炭製品工業	輸送機械工業 化学工業 鉄鋼業 窯業・土石製品工業 非鉄金属工業 木材・木製品工業 一般機械工業 プラスチック製品工業 金属製品工業 電気機械工業 ゴム製品工業 パルプ・紙・紙加工業 家具工業 鉱業

四半期別指数の動向

平成23年 7～9月期の概況

○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比5.6%上昇
出荷が同11.2%上昇、在庫が同12.6%上昇となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 94.5で前期比5.6%上昇 (2期ぶりの上昇)
原指数 : 96.4で前年同期比0.7%低下 (2期連続の低下)

(2) 出荷

季節調整済指数 : 95.4で前期比11.2%上昇 (2期ぶりの上昇)
原指数 : 97.5で前年同期比0.4%上昇 (3期ぶりの上昇)

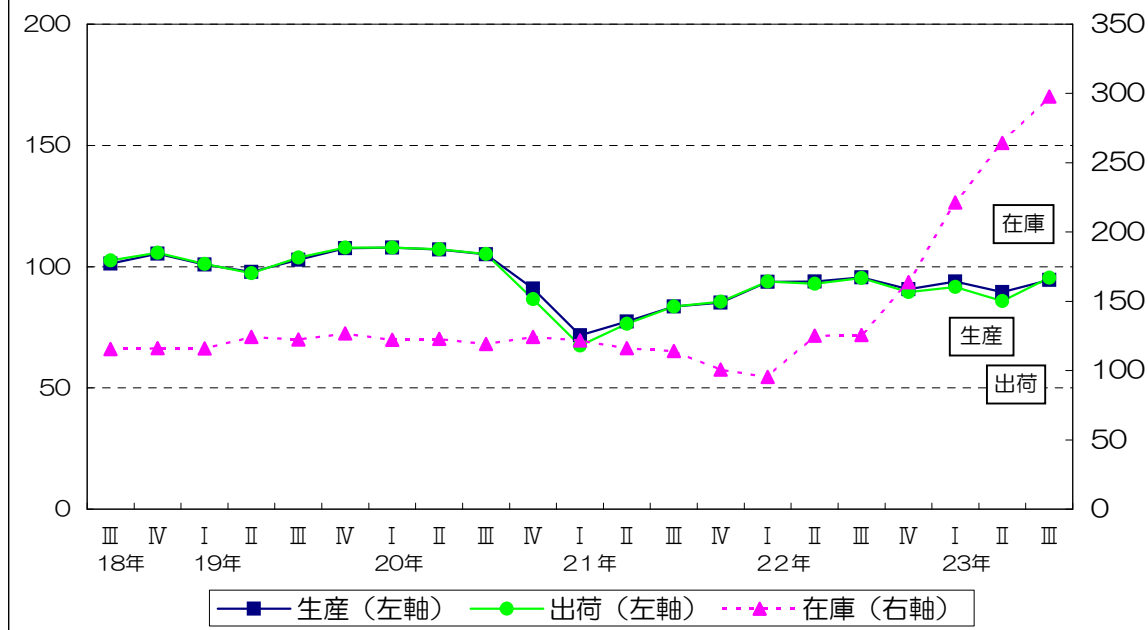
(3) 在庫

季節調整済指数 : 297.8で前期比12.6%上昇 (6期連続の上昇)
原指数 : 303.4で前年同期比136.5%上昇 (6期連続の上昇)

平成17年=100

		生 産		出 荷		在 庫	
		季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)
22年	7～9月期	95.6	1.8	95.3	2.6	125.7	0.5
	10～12月期	90.7	▲5.1	89.5	▲6.1	163.9	30.4
23年	1～3月期	93.8	3.4	91.6	2.3	221.4	35.1
	4～6月期	89.5	▲4.6	85.8	▲6.3	264.4	19.4
	7～9月期	94.5	5.6	95.4	11.2	297.8	12.6
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
22年	7～9月期	97.1	16.1	97.1	16.0	128.3	10.9
	10～12月期	94.3	5.6	93.1	3.7	162.7	60.1
23年	1～3月期	91.3	0.0	89.2	▲2.5	214.1	132.7
	4～6月期	86.4	▲5.1	83.0	▲7.4	270.2	112.4
	7～9月期	96.4	▲0.7	97.5	0.4	303.4	136.5

四半期別指数の推移(季節調整済指数)



全業種・主要9業種の動向
(23年9月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は91.9(季節調整済)となり、前月と比べると食料品・たばこ工業、電子部品・デバイス工業などが上昇したが、輸送機械工業、化学工業などが低下したため、総合では前月比4.0%低下(前年同月比3.7%低下)となった。
- (2) 出荷指数は92.4(季節調整済)となり、前月と比べると食料品・たばこ工業、金属製品工業などが上昇したが、輸送機械工業、一般機械工業などが低下したため、総合では前月比4.0%低下(前年同月比1.5%低下)となった。
- (3) 在庫指数は306.9(季節調整済)となり、前月と比べると電子部品・デバイス工業、化学工業などが低下したが、輸送機械工業などが上昇したため、総合では前月比1.9%上昇(前年同月比152.5%上昇)となった。

○ 主要9業種の動向

[生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲8.4	▲7.4	特殊鋼熱間圧延鋼材、軌条、粗鋼 等
金属製品	▲2.3	▲16.3	飲料用缶、鉄骨、ガス湯沸器 等
一般機械	▲1.9	2.6	産業用ロボット、半導体製造装置、クレーン 等
電気機械	▲2.5	9.2	電力変換装置、変圧器、サーボモータ 等
電子・デバイス	0.8	▲18.1	混成集積回路、計数回路、光電変換素子 等
輸送機械	▲9.7	10.4	普通自動車、小型自動車、自動車部品 等
窯業・土石製品	▲5.4	0.4	セメント、ガラス短繊維、生コンクリート 等
化学	▲9.7	▲18.0	トルイレンジイソシアネート、ビスフェノールA、ジフェニルメタンジイソシアネート 等
食料品・たばこ	2.9	▲21.8	固型カレー、弁当 等
総合	▲4.0	▲3.7	—

[出荷]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲2.9	▲1.5	特殊鋼熱間圧延鋼材、形鋼、めっき鋼材 等
金属製品	7.3	▲17.2	粉末冶金製品、スチール又はステンレスシャッター、鉄構物
一般機械	▲10.3	5.5	産業用ロボット、ショベル系掘削機(油圧式)、半導体製造装置 等
電気機械	▲2.3	10.5	電力変換装置、変圧器、サーボモータ 等
電子・デバイス	1.6	▲22.9	混成集積回路、計数回路、シリコンダイオード 等
輸送機械	▲8.4	10.1	普通自動車、小型自動車、自動車部品 等
窯業・土石製品	▲1.6	9.0	セメント、生コンクリート、道路用コンクリート製品 等
化学	▲6.9	▲15.9	トルイレンジイソシアネート、ビスフェノールA、触媒 等
食料品・たばこ	7.2	▲25.2	固型カレー、弁当 等
総合	▲4.0	▲1.5	—

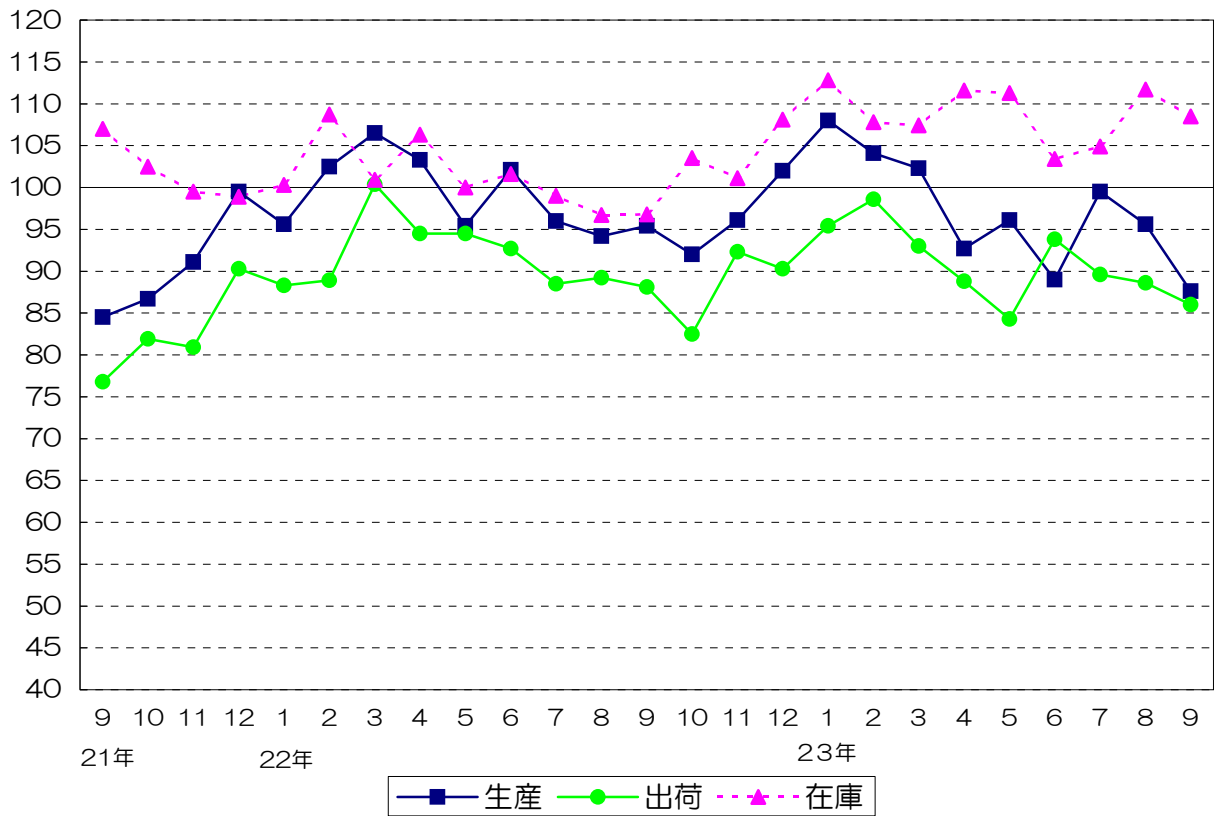
[在庫]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲2.9	11.9	軌条、特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼帯 等
金属製品	▲4.6	▲13.8	スチール又はステンレスシャッター、飲料用缶、ガス湯沸器 等
一般機械	▲2.3	125.1	ショベル系掘削機(油圧式)
電気機械	▲7.7	52.2	電気ホイス、電力量計
電子・デバイス	▲100.0	-	線形回路、計数回路
輸送機械	6.5	366.1	普通自動車
窯業・土石製品	1.6	2.4	道路用コンクリート製品、衛生用陶磁器、ほうろう鉄器 等
化学	▲6.0	▲5.0	ジフェニルメタンジイソシアネート、ナフタリン、トルイレンジイソシアネート 等
食料品・たばこ	▲2.2	▲19.5	その他の調味料、清涼飲料 等
総合	1.9	152.5	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

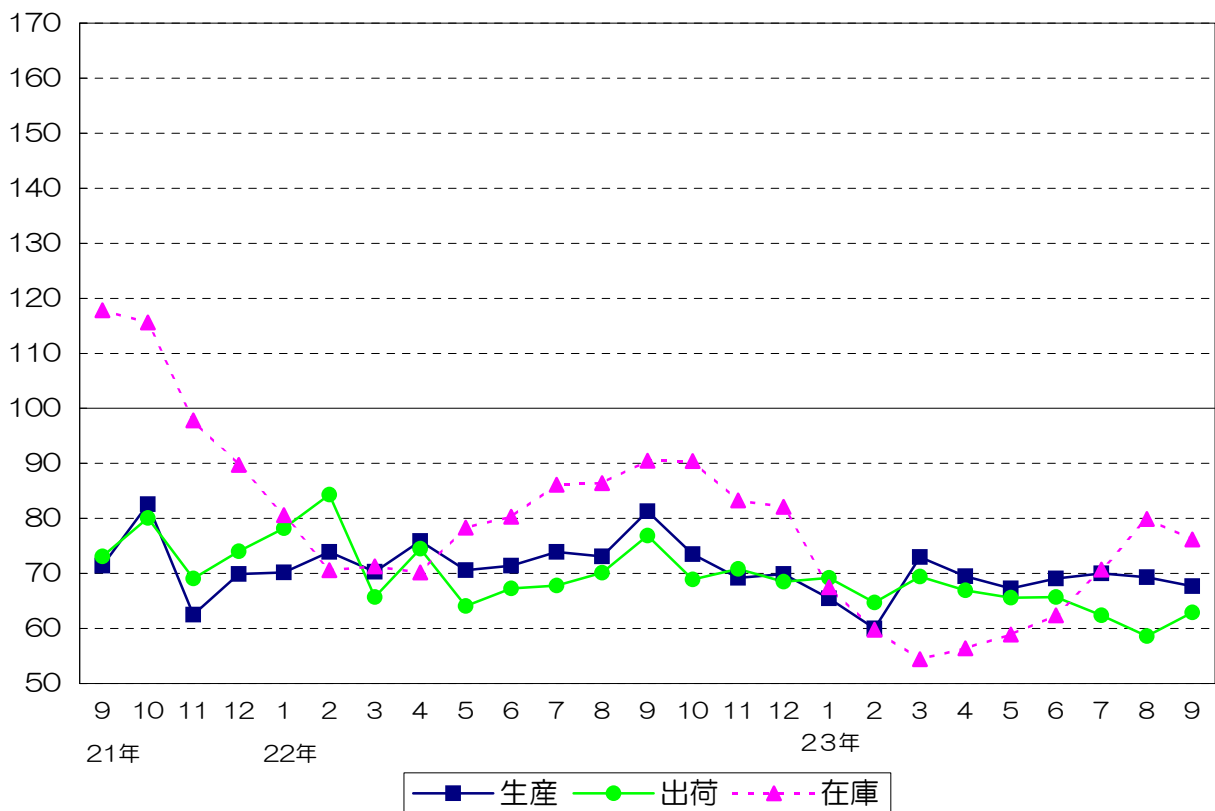
鉄鋼業 (季節調整済指数)

平成17年=100



金属製品工業 (季節調整済指数)

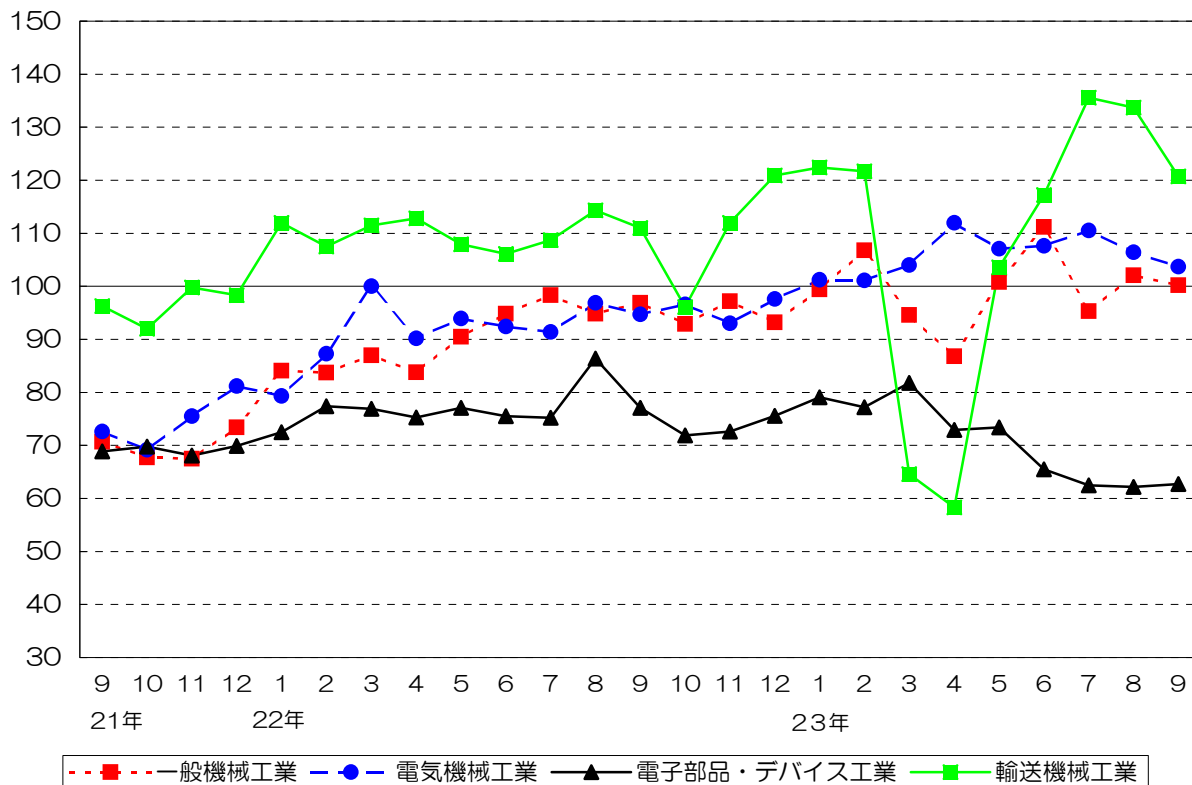
平成17年=100



機械工業（季節調整済指数）

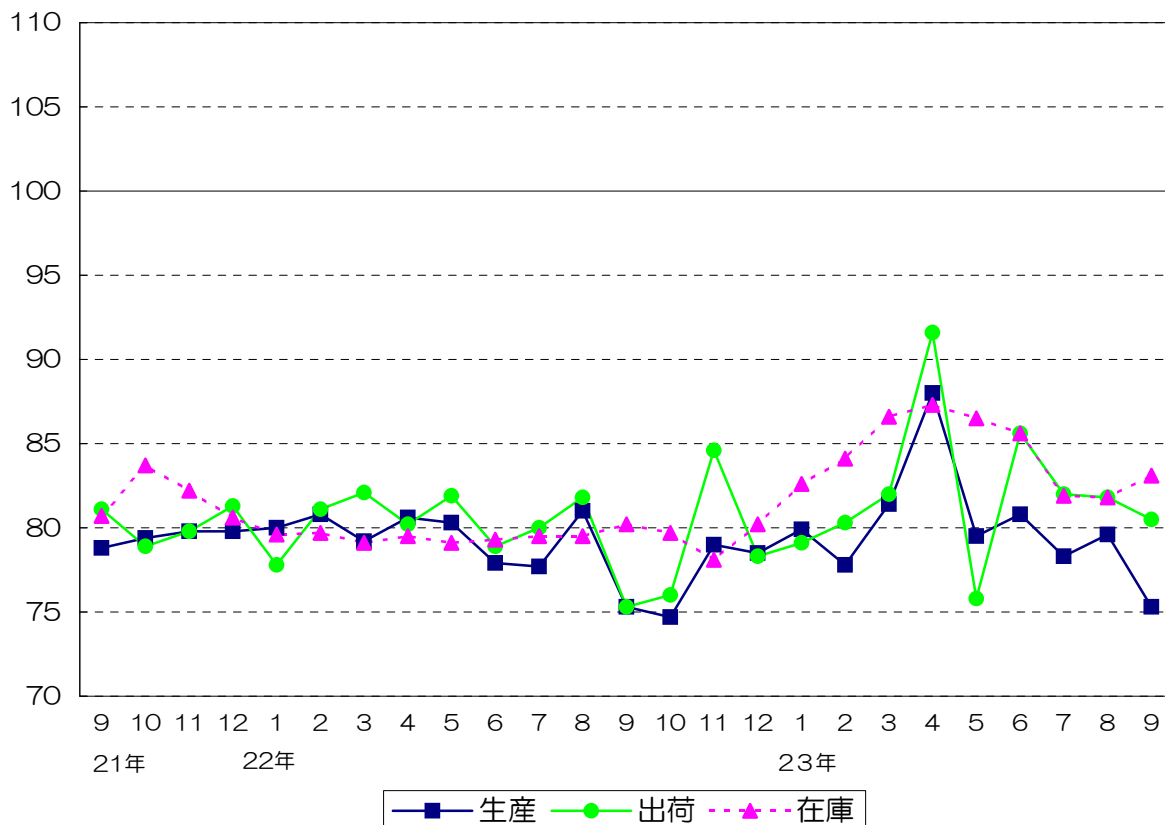
*生産指数のみ。

平成17年=100



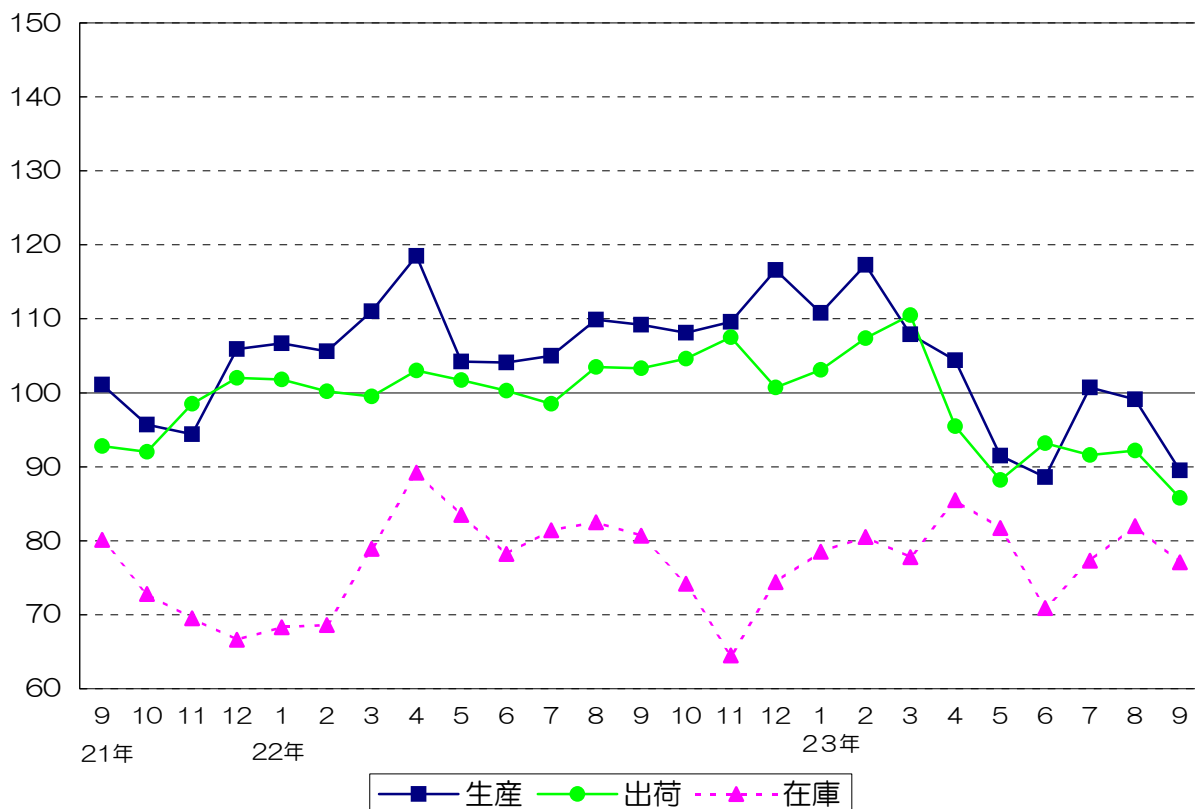
窯業・土石製品工業（季節調整済指数）

平成17年=100



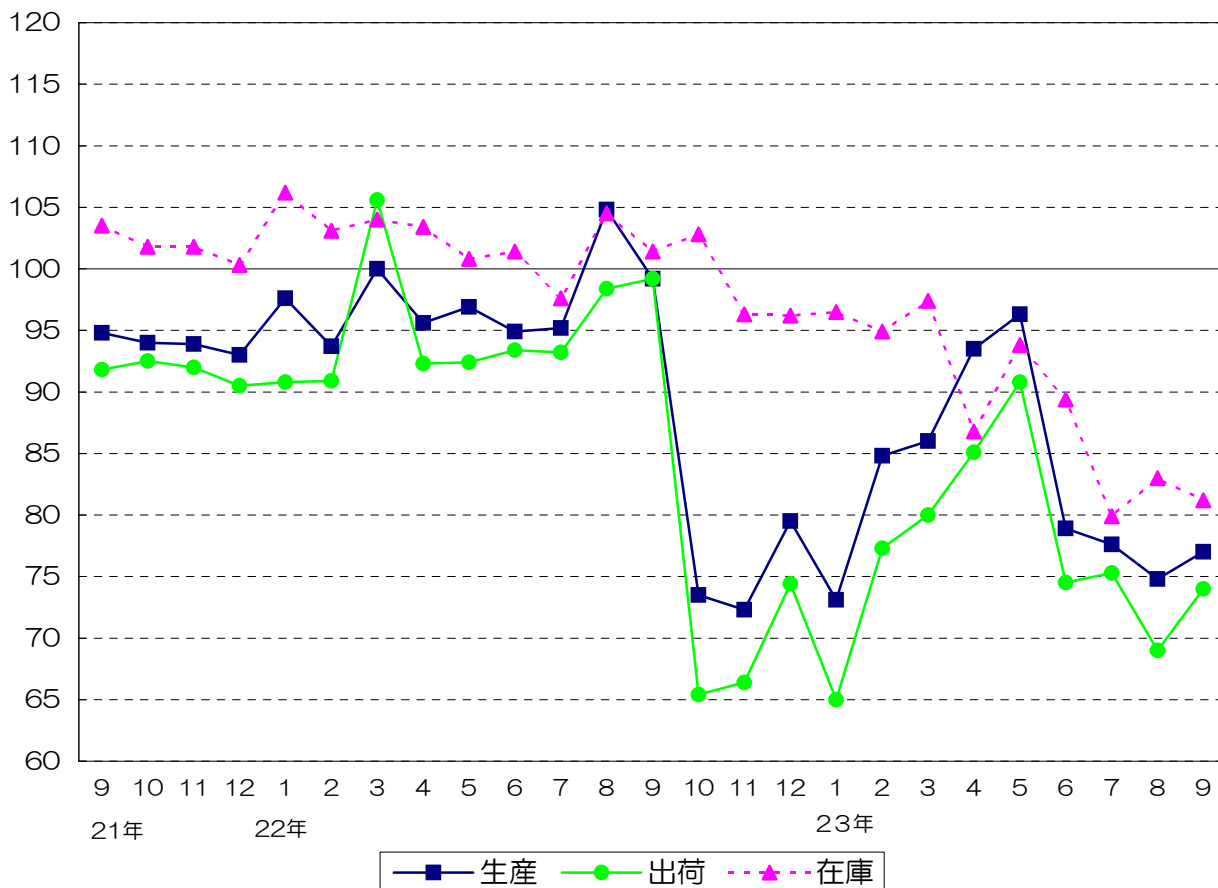
化学工業 (季節調整済指数)

平成17年=100



食料品・たばこ工業 (季節調整済指数)

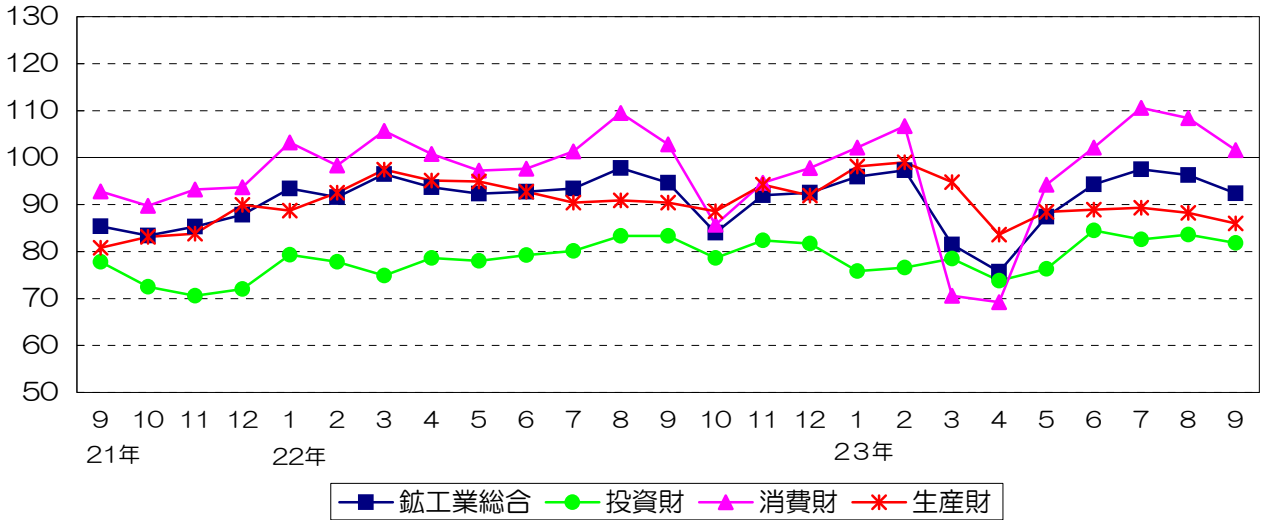
平成17年=100



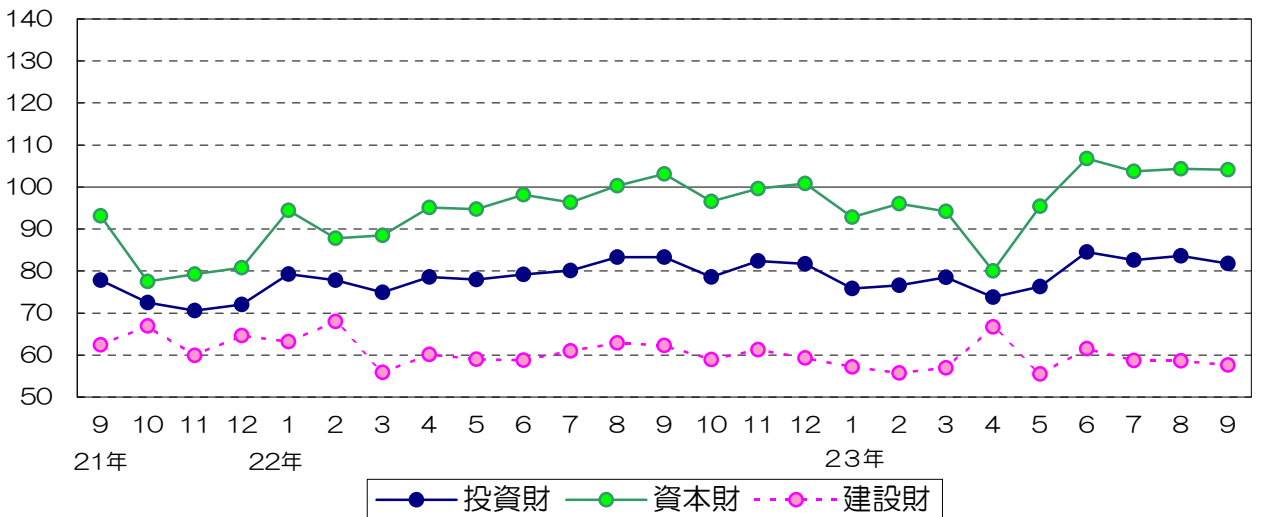
福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

平成17年=100

鉱工業総合



投資財



消費財

